

大学図書館問題研究会関西3地域グループ合同例会

これからの大学図書館システムを語る

国内初、 慶應義塾大学と早稲田大学の2020年 図書館システム共同運用の背景

現在、大学図書館システムは2020NACSIS-CAT/ILLとの関係や電子ジャーナル等に代表される電子コンテンツ管理の課題もあれば、既存国内ベンダーの図書館システムとは明らかに違うProQuest (ExLibris)のAlmaやEBSCOのFOLIOなど海外では次世代の図書館システムの動きなどがあり、この先をどう読み取ることが重要になってきています。そうした中で、2017年5月12日慶應義塾大学三田キャンパスにおいて慶應義塾大学メディアセンターと早稲田大学図書館による図書館システムの共同運用に向けた覚書が締結されました。いったい何を考え、何に狙いを定めて2020年の大学図書館システムを構築しようとしているのか？そして、その先をどう描いているのか？慶應義塾大学メディアセンターの入江氏が考える次期大学図書館システムの姿についてたっぷり語ってまいります。

3.10(土) 13:30~
(13:15受付開始)
京都市国際交流会館 第1・2会議室
講師:入江 伸 氏
(慶應義塾大学メディアセンター)

参加費:会員無料 非会員500円
申込先:大学図書館問題研究会
京都地域グループHP
イベントページ内申込フォーム
(2018.3.3メ切)
主 催:大学図書館問題研究会
関西3地域グループ合同例会

